

2021年度
事業計画書

自 2021年4月1日
至 2022年3月31日

公益財団法人日本フラッグフットボール協会はフラッグフットボールが持つ「個の尊重と共生」という優れた価値を広く社会に普及し、次世代を担う子供たちの『生きる力』を育てるとともに、家族や地域などの多種多様なコミュニティの創造と活性化を図り、社会の発展に寄与することを目的として、2021年度に以下の事業を行うものとする。

1：フラッグフットボールに関する情報発信

全国のフラッグフットボール関係者及び興味、関心を持ってくださる方々に向けて、規則、レポート等の情報公開を行うと同時に、公式WEBサイト及び公式SNSを運営し、最新情報や魅力を発信する。

2：フラッグフットボール日本選手権大会の共催

フラッグフットボールの日本選手権大会について、公益社団法人日本アメリカンフットボール協会と共催する。

3：イベントの主催・共催・後援・協力

フラッグフットボールを通じたコミュニティや人材育成の拡大に資するイベントについて主催・共催・後援・協力をを行う。

4：全国小学校「作戦ブック」および「フラッグ」の寄贈

全国で授業を受ける小学生のフラッグフットボール理解促進を目的として、子ども用補助教材「作戦ブック」を製作し、小学校へ寄贈する。
寄贈数は140,000冊とし、寄贈校のうち、700校については作戦ブックに加えて、用具（フラッグ）を1クラス分同梱する。
当事業は（一財）日本宝くじ協会の助成を受けて実施する。

5：日本全国の小学校授業に向けた新たなサポートプログラムの開発

2020年度の新たな学習指導要領の施行に基づき、フラッグフットボールの学校授業で取り組む先生方や児童・生徒の皆様に向けた新たな教育ツールやサポートプログラムを開発し、日本全国の学校へ展開する。
当事業は学校教育関係企業との協業によって実施する。

6 : 「甲子園ボウル」 記念ボールの寄贈

アメリカンフットボールの大学日本一決定戦である「甲子園ボウル」とのタイアップ事業として、記念ボールを制作し小学校へ寄贈する。
当事業は、甲子園ボウル実行委員会の助成を受けて実施する。

7 : 用具の継続的な開発と流通の拡大

用具開発の検証や審査、契約を行い、流通の拡大を促進する。

8 : フラッグフットボールの研究

本事業計画における活動を通して集まる情報を元に、フラッグフットボールに関する研究およびレポートの作成・発表を行う。
当事業は大学との協業によって実施する。

9 : その他目的に資する事業

その他フラッグフットボールが持つ教育的価値・社会的価値によって日本社会に貢献する活動について企画し、実行する。

※ 本事業計画書の制作物の名称、数量等は一部変更になる場合があります。

以上